

# 立川第三中学校区 (第三小、第六小、第七小、立川第三中)

## 〔小中連携のテーマ〕

「三中校区を盛り上げる 地域に貢献できる児童・生徒を育てよう」

## 〔わらい〕

○三中校区の地域、各小中学校における児童・生徒の実態等に基づき、目指す児童・生徒像（自らすすんで学び、規範意識を高くもち、互いを認め合う児童・生徒の育成）の実現のため、小中連携教育を全教育活動において推進することを目的とする。

## 〔具体的な取組〕

今年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策を講じながら以下の取組を行いました。

### 1 「確かな力」

～学習指導と健康教育等に関すること～

#### (1) 外国語教育の充実

- ・中学校の英語科教員が校区の小学校を訪問し、小学校5、6年生の外国語の授業を指導するなど直接携わる取組を行っています。
- ・中学校の英語科教員の専門的な知識を基に、小学校の担任とALT とが話し合い、授業改善を図り、共通理解を通じて中学校英語教育への接続を図っています。

#### (2) ラジオ体操指導

- ・小学校の運動会の前に中学校の保健体育科教員によるラジオ体操指導を行っています。小学生は、ラジオ体操の正しい動きについて理解し、指導後は手本となり、全校でラジオ体操をしっかりとできるようになりました。

#### (3) 読書活動交流

- ・小・中学校の図書委員会を中心に、中学校の生徒がポップを作成し、小学校の学校図書館に掲示したり、委員会新聞を作成したりして交流を図っています。

#### (4) 体力向上「長縄」

- ・長縄「8の字跳び」を三中校区統一ルールで行っている。小学校各学校において、取り組む時期、練習方法、行事などを決めて取り組んでいます。



### 2 「やさしい心」

～人権教育、道徳教育、健全教育等に関すること～

#### (1) 児童会・生徒会交流

- ・1学期(7月)にGoogle Meetで各小学校の児童会の代表と三中の生徒会の代表が各校の取組について報告し合い、意見交流を行っています。
- ・各校で発行している児童会、生徒会新聞を全校児童が見られるよう掲示するなど、交流を図っています。

## (2) 三中校区小中連携教育研修会

- ・第七小学校に、十文字学園女子大学 副学長 綿井 雅康先生を講師に招き、「QU テストの見方・活用の仕方」～2 学期以降の学級経営に生かす～をテーマにご講演いただきました。学級集団の状態を把握し、児童・生徒一人一人の理解と支援について学び、学級経営に役立てています。

## 3 「個を輝かせ」

～特別支援教育、キャリア教育、特色ある学級づくり等に関すること～

### (1) 中学校部活動紹介

- ・コロナ禍のため、各小学校 6 年生の児童が中学校を訪問することは中止し、立川第三中学校の生徒が作成した「部活動紹介動画」を各小学校で視聴しました。

## 4 「社会のために」

～社会性の育成、生き方を考える力・実践力の育成、開かれた学校づくり等に関すること～

### (1) 小中連携挨拶運動

- ・例年、年間 3 回（4 月、10 月、1 月）、立川第三中学校の生徒会が中心となり、朝の通学時間前に小学校を訪問し、校門付近にて挨拶運動を行っています。教職員、保護者、地域の方々と共に、第三中学校区が気持ちの良い挨拶を広げることができるよう取り組んでいます。



### (2) 立川市民科の充実

- ・地域を愛し地域に貢献できる児童・生徒を育てるため、また、立川市民科の教科化に向けても、校区の各校・各学年で地域と連携・協働しながら授業を展開しています。

## 〔取組の成果と課題〕

### 1 成果

- ・Google Meetを活用し、三中校区4校の教員が「生活指導」「配慮が必要な子どもへの指導の在り方」「学力向上」「外国語活動（英語）の連携」「立川市民科」「道徳授業交流」の6分科会に分かれ、共通して実践可能な内容を検討し、実践することができた。
- ・児童・生徒は、Google Meetによる交流を通して自校や他校の良さを理解し、各学校の生活の決まりや良さを見直すことができた。
- ・各小学校6年生児童は、中学校の部活紹介を視聴し、中学校進学への期待とあこがれをもつことができた。

### 2 課題

- ・学習指導の交流における教員の学び合いの機会を設定しているが、コロナ禍のため中止となった。今後も必要に応じてGoogle Meetを活用するなど工夫が必要である。
- ・各校で行っている立川市民科の授業を今後も持続可能な形で、かつ、より主体的・探究的な学びへと発展させていく必要がある。

